

日本財団 海洋事業部海洋環境チーム 御中

「若年層の視点から海洋問題を再認識・議論する場の創出」  
「ざわザワ高校」～海の未来を変える哲学～

実施報告書



2025/3/31

## ■目的

- 「海の持続可能な利用と保全」のために、海の課題やジレンマを抱える人から高校生がその現状と障壁を学び社会課題を哲学領域まで昇華させ(本質観取)、**新たな考え方・行動・興味関心を引き出す**ことを目指す。

## ■授業概要

- 日程 : 6～2月まで全6回授業  
□時間 : 午前・午後 各90分/日  
□場所 : 海をフィールドにした哲学教室 (高浜町 若狭高浜漁協組合ほかをベースに)  
□設定 : 「ざわザワ高校 ～海の未来を変える哲学～」  
□授業構成 : ①海の課題授業  
(実際に海の課題を抱える人や団体、専門家を講師にフィールドワーク)  
②海の課題を受けて哲学するテーマ設定 (問い立て)  
③哲学による本質観取  
(課題の本質を探す)(事例→共通点→本質の言語化)  
④課題の本質から解決への仮定策を出す (要エビデンス)  
⑤社会実装に向けて検証・アクション (何が変わったか)  
⑥事業成果の発信 (自治体へのプレゼン・提言 ※講師陣 監修)

□年間テーマ: 「海とともに生きる持続可能な街づくりヒトづくり」

□参加 : 高校生10名予定 (登録は17名)

- 講師 : ●哲学講師 : 苫野一徳(熊本大学准教授) 哲学監修  
岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
●海洋講師 : 福井県立若狭高校 海洋科学科 小坂教諭 (小畑有海 教諭)  
高浜町産業振興課 中村広花さん  
漁師 (高浜漁協 藤本さん)  
県立大学 富永教授 (卒業生含む)  
●ファシリテーター (学級委員長)  
: 堀潤氏 (ジャーナリスト / 元NHKアナウンサー)  
●MC : 佐橋嬉香 (フリーアナウンサー)

## ■番組概要

- ジャンル : 教養バラエティ番組  
□タイトル : 「ざわザワ高校 ～海の未来を変える哲学～」  
□収録 : 毎月1回 オールロケ  
□放送 : 収録から、2週間後の土曜日30分番組  
※1日の授業の様子をダイジェストで放送 (福井テレビ)  
□配信 : YouTube (福井テレビ公式チャンネル 登録29,100人)  
※1日の授業を30分×6回で分割配信(ノーカット)  
※福井に來れない生徒も全国から参加できるように。  
□キャスト : 参加高校生 (約10名。登録17名。ニックネームで出演)  
堀潤(メンター・ファシリ)  
岩内章太郎 (講師、哲学者、哲学研究者) / 苫野一徳 (哲学監修)  
MCアナ (進行)



哲学的思考で海の課題を考えよう!



ざわざわ高校～海の未来を変える哲学～

# 参加者大募集

高校生が哲学に挑戦し、「本質を考え抜く力＝哲学的思考」を身につける、ざわざわ高校の第二弾。

今回は「海」に関する課題を抱える地域や人々の現状を学び、哲学的思考で解決方法を考えていきます。

世界的企業でも導入が始まっている「哲学的思考」での課題解決を実践し、これからの人材に求められる能力を育てていきます。

ジャーナリストの堀潤さん、哲学者の苦野一穂さん、岩内章太郎さん、

そして、様々な海洋問題の専門家の皆さんと一緒に、海の課題について考え、解決の糸口を見つけてみましょう。

**哲学的思考での課題解決について学ぶ実践的な授業がスタートします!**

## プログラムについて

- STEP①** 海に関する課題を抱える地域の調査・課題に取り組む。  
専門家への取材を通して、「海」が直面している課題を把握。
- STEP②** 課題の中から、テーマを1つ選び、哲学的思考で整理。  
問題の本質を見つけ出し、新たな解決方法を模索・発表。

## 日程

毎月1回（6月～12月、全6回）

## 講師プロフィール



**堀潤**  
・ジャーナリスト/  
元NHKアナウンサー  
・NHKアナウンサーとして、「ニュース  
ウォッチ9」リポーター「Busぶ」キャ  
スター等、報道番組を担当。2015年  
にNHKを退職し、現在はフリーの  
ジャーナリスト・キャスターとして多岐  
に亘り活躍。



## 応募条件

- ・高校生
- ・毎月1回（6～12月）の収録に継続して参加できる方（要相談）

## スケジュール

エントリー受付 0月00日（●）まで ※応募後、オンライン面接あり

## エントリー方法

- ・下記のエントリーフォームより受付中!

- ・郵送（下記資料を同封の上、問い合わせ先住所までご送付下さい）
- ① 履歴書
- ② 写真 バストアップと全身の写真2枚 ※ブリクッ不可

特別協力：日本財団 海と日本プロジェクト

問い合わせ 福井テレビ コンテンツ事業部

住所 福井市問屋町3丁目410

TEL 0776-21-2235（平日/9:30～17:30）





タマフネ



みゆう



King



みー



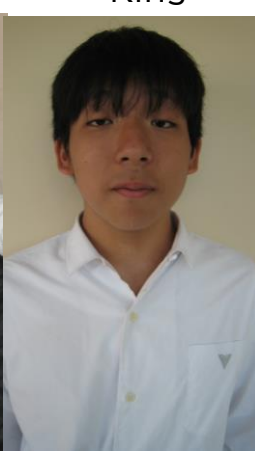
すーさん



りつつあ



花彩(はな)



かめこん



こと



サマーボーイ



くま



カイト



Miumiu



なっけん



こころ



タダシ



ゆうせい



学級委員長

堀潤さん  
ジャーナリスト



哲学講師

岩内章太郎さん  
豊橋技術科学大学・准教授(哲学)



中村広花さん  
高浜町産業振興課



藤本雅広さん  
漁師建築家



小坂康之さん  
福井県若狭高校 海洋  
科学科 教諭



## 第1回 (6/30収録) 「高浜」を知る①



実地  
リサーチ

漁港周辺を街歩き  
・漁師、港町、UMIKARA  
・「高浜らしさ」写真で発表

## 第2回 (7/28収録) 「高浜」を知る②



ないもの  
ねだりから  
あるもの  
さがし

「地元学」であるもの探し  
・ビーチにも足を運ぶ  
・「魅力」をまとめ発表

## 第3回 (9/15収録) 「哲学対話」スタート



問い立て

さまざまなテーマで議論  
・高浜に住みたい？  
・「海を守る」本質とは？

## 第4回 (10/26収録) 哲学対話「本質観取」



テーマ決定  
本質観取へ

本質を洞察→共通理解を言語化  
①「良い暮らし」とは  
②「聖なるもの」とは

## 第5回 (11/17収録) プレゼン準備



再リサーチ  
アクション  
検討

問いの整理 & 実地リサーチ

①海と暮らし  
②日本人にとっての海とは  
→プレゼン構成考案・作成  
→さらなる実地リサーチ・具体的な  
アクションプラン検討

## 第6回 (2/2収録) プレゼン本番



高浜町の方々に提言プレゼン  
・海を生かした地域の活性化策  
・各チーム10～15分で発表



- 日程：2024年6月30日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 若狭高浜漁業協同組合・UMIKARAほか
- 参加：福井県内高校生 男女13名  
堀潤(ジャーナリスト)  
高浜町の皆様(高浜町産業振興課 / 若狭高浜漁業協同組合 ほか)

## 海と歩む街の未来を考えることは、海の未来を考えること。

ざわザワ高校の学級委員長を務めるジャーナリストの堀潤さんから高校生に授業のオリエンテーション。「海と共に歩んできた高浜町の未来を考えることは、海の未来を考えることにつながる。高校生たちが高浜町の海の専門家や当事者と出会い、肌で湊町のイマを体感し、その発想で未来を変えていこう」。高浜町の野瀬町長も参加いただき、ざわザワ高校へ高浜町としての協力と激励の言葉を頂きました。

第1部では、講師に高浜町産業振興課で水産分野の活性化に力を注ぐ水産女子である中村広花さんと、高浜町に移住し、朝は漁師をしながら昼は建築設計の仕事を行う藤本雅広さんを迎え、「海とともに歩む高浜町らしさ」を考えていきます。お二人の活動から高浜町のことを事前に学び、高校生たちは海の6次産業化拠点である「UMIKARA」と漁港・漁村を回るフィールドワークに。地元漁師の方などとの会話で今、海が抱えている課題や変化、地元の想いを学びました。



## 高校生が「海と歩む高浜町らしさ」を写真で発表。その気づきを共有していく。

高校生たちがフィールドワークで自分の目で見つけた「高浜町らしさ」を写真で発表していきます。高校生からは「普段見ない光景に、命の大切さを見た。命との距離が近い気がした」や「魚も漁師さんも可愛かった」という意見まで。

高浜町 中村さんは「きっかけはカワイイはありだと改めて感じられた。高校生の発想や視点こそ大切にしたい。」商業施設を見た高校生からは、「問題をおしゃれに変えていけると思う」。何枚も写真を撮っていた高校生からは「並べてみると魚や漁具など赤色が多かった。海だから青というイメージだったが、実は高浜町のカラーは赤ではないか」など中村さん、藤本さんもびっくりの意見も！



# 第1回 ざわザワ高校（授業資料）



## 1-1. 高浜町の位置

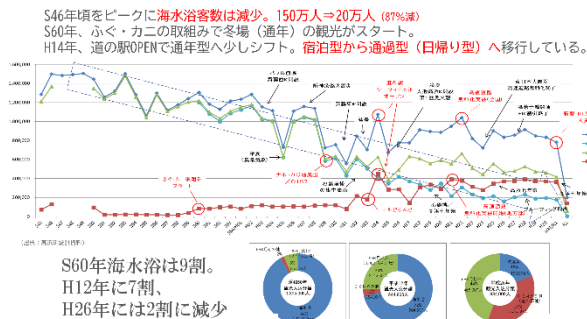


## 1-2. 高浜町の概要

- **高浜町の位置**  
福井県の最西端（京都府舞鶴市と隣接） 総面積：72.40 Km<sup>2</sup>（県下17市町中17位）
  - **地形**  
東西に細長い帯状の平坦地が開け、北に若狭湾を、南に飯盛山脈を背にし、西に「若狭富士」と呼ばれる青葉山がそびえている
  - **沿革**  
昭和30年2月に、旧高浜町・和田村・青柳村・内浦村の1町3村が合併（合併後、63年）
  - **人口**  
総人口 9,832名 世帯数 4,271世帯（令和5年1月末時点）
  - **産業**  
昭和40年頃 第1次産業が中心（就業率は48.7%）  
→ 米と野菜を中心とした農業  
昭和44年 第2次産業が発達  
→ 定置網による漁業  
昭和49年 関西電力高浜発電所 1号機運転開始
- 就業者総数 5,691人  
⇒ 第1次産業 約7.5%、第2次産業 約26.7%、第3次産業 約64.8% と  
法人数  
昭和43年度 約60社  
昭和60年度 約200社  
平成29年度 約293社
- ↓  
**産業構造が大きく変化**



## 高浜町の交流人口

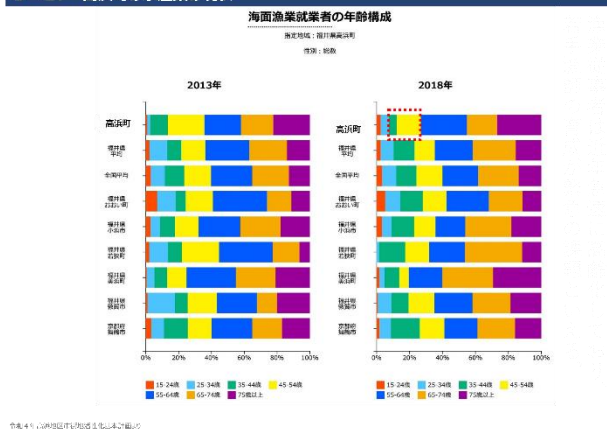


## 3-1. 高浜町の漁業の概要

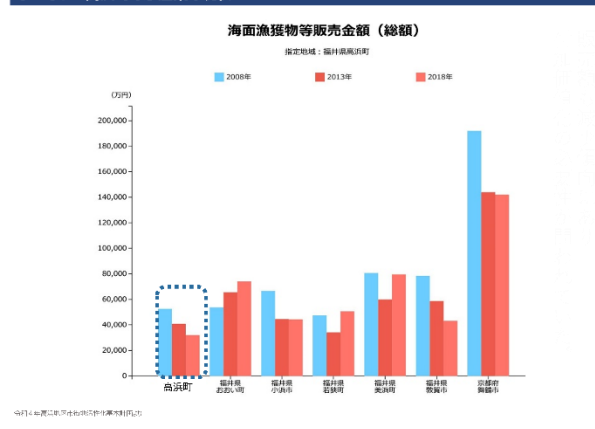
- **高浜漁港の概要**  
種別：第2種  
所在地：高浜町市代、塩土、西三松  
管理者：福井県  
漁港の指定：昭和26年7月28日  
管理者の指定：昭和28年10月1日
- **主な漁業**  
刺網（9経営体）延縄（14経営体）定置（18経営体）  
採貝採藻（8経営体）、その他釣り（6経営体）、その他（26経営体）  
養殖業（11経営体）  
令和4年水揚げ量 約524トン 水揚げ額 3.3億
- **沿革**  
平成13年に5つの地区より合併し、現在の若狭湾漁協に一本化。  
町内には4漁港、2港湾漁協本所（高浜漁港）の他に、和田支所（和田港）  
内浦支所（上瀬漁港日引地区）、香海支所（香海漁港香海地区）及び小黒  
飯事務所（小黒飯漁港）と3支所1事務所が町内に立地
- **課題と現状**  
漁獲量の6～8割を自営定置網に依存しており、定置網の漁獲が漁協経営の柱になっている。定置網は回遊性資源に依存するため、漁獲が不安定でまた天候にも左右されるため、リスクが高い。また、施設老朽化に伴い、漁業者の高齢化や魚価の低迷、出荷体制の見直しなどの課題がある。しかし、若手若年の活動活性化や新たな団体の立ち上げ（基盤の保全）、試験養殖へのチャレンジも進んでいる。



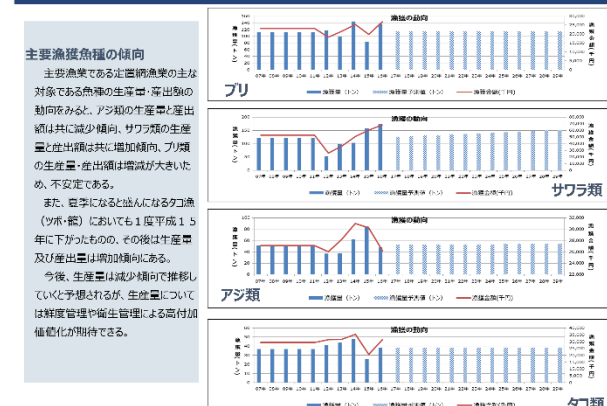
## 3-2. 高浜町の水産業の現状



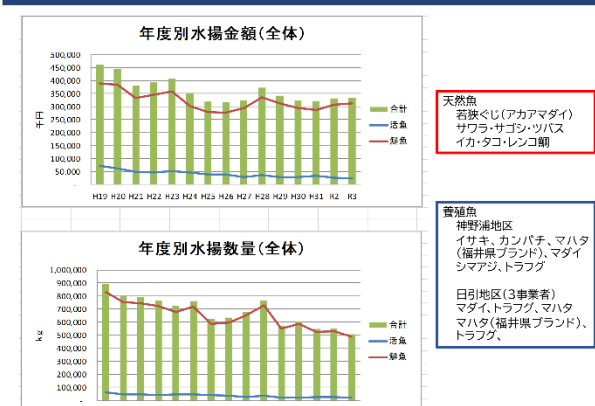
## 3-3. 高浜町の水産業の現状



## 3-4. 高浜町の水産業の現状（主要漁獲魚種の傾向）



## 高浜漁協水揚げの推移





## 3-5. 課題

### 1. 施設の老朽化による高付加価値化の限界

漁協本所、市場が老朽化著しく、鮮度管理が困難。  
不効率的な分散した出荷体制。

### 2. 漁獲変動が大きい

本協会の6〜7割を占める定置を始め天然資源依存型漁業が中心のため、漁獲変動が大きい。

### 3. 6次産業システムの未形成

観光を活用した付加価値型の地場流通等の6次産業システムが未形成である。

高浜漁業協同組合



## 高浜漁港再整備全体完成図



## I. 海の6次産業化

### 日本の家庭で減少し続ける魚食

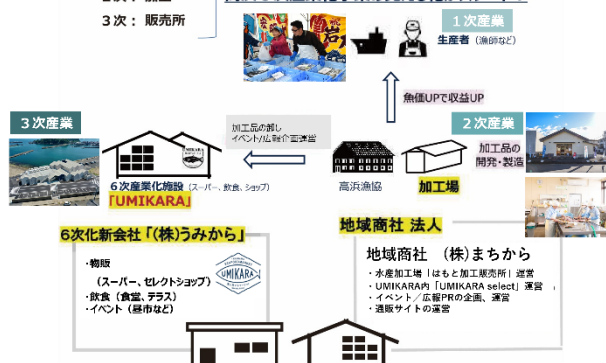


漁業再生のために、「魚の価値」を上げる。＝ 海の6次産業化

## I-②. 海の6次産業化

- 1次：生産者
- 2次：加工
- 3次：販売所

### 高浜6次産業化事業の見える化がスタート！



## I-③. 海の6次産業化の実績

## シーフードマーケット UMIKARA



## I-④. 海の6次産業化の実績

## はもと加工販売所（絆まちから）



## 農水産物新規開発メニュー





# 第1回 ざわザワ高校（授業資料）

## 農水産物新規開発加工商品

(株)まちからの加工商品の一部

## 高浜町の新たな取組み

UMIKARA施設周辺で毎月開催「昼市」及び不定期イベント

- 海鮮が充実する屋台の出店
- 船から水揚げされたばかりの鮮魚の販売
- 漁師らが参加することで住民と漁業が身近に
- 定期的な開催による賑わいの定着化

## 高浜町の新たな取組み

### 育てる漁業への挑戦「イワガキ養殖」

- 県のイワガキブランド化に向けた取り組みへの参画
- 5つの湾内で試験養殖を行い、可能性を模索
- 高浜漁協では行われていなかった二枚貝販売への挑戦
- 町内への定着から町外、県外へ

## 高浜町の新たな取組み

### 高浜の藻場を守る「若狭高浜ブループロジェクト」

- 日分達の漁場は自分たちで守る
- 水産多面的機能発揮対策事業を活用
- 1回の駆除活動で約4000個のムラサキウニを駆除
- R5は母殻となる養殖用種殻（ワカメ）を投入予定

## 「漁師から見た海や漁師」として

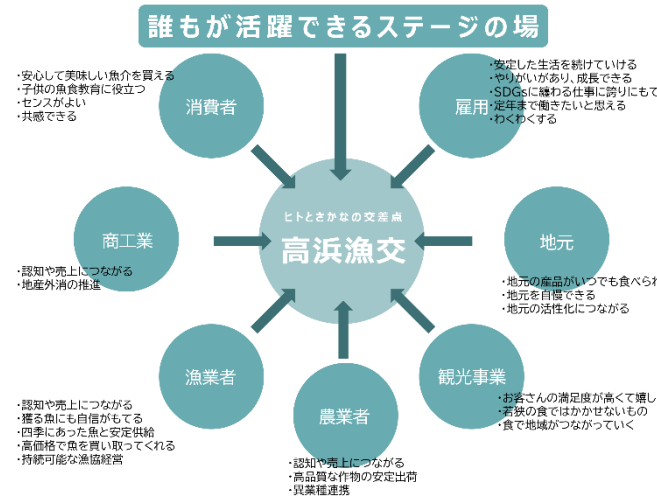
Instagramでの発信

takahama\_fisherman

と町長公式YouTubeチャンネルにて動画作成・配信

子供たちへの教育活動や取組発表

漁師たちとの交流





## 第2回 ざわザワ高校

- 日程：2024年7月28日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 若狭高浜漁業協同組合・和田地区ほか
- 参加：福井県内高校生 男女11名  
堀潤(ジャーナリスト)  
小坂康之(福井県立若狭高等学校 / 海洋学科教諭)  
高浜町の皆様(高浜町産業振興課 / 若狭高浜漁業協同組合 ほか)

### 海と歩む街のイマの本当の姿に迫る。

第2回の授業は、福井県立若狭高校 小坂康之先生を講師に迎え、「地元学」という手法で「海と共に歩む高浜町」のイマに迫りました。「地元学」とは、自然・歴史・文化、そして生活する人々という地元にある資源に着目、活用し地域発展を促していく手法。



### 「地元学」の実践。ないものねだりではなく、「あるもの探し」から見えてくるもの。

高校生たちは、「塩土地区」「和田ビーチ地区」「和田地区」の3班に分かれ、海際の旅館、雑貨屋、地元で70年続く散髪屋など地元の方々に「この地域で一番好きなところはどこか？」「この地域を一言で表すと？」など「地元学」につながる質問で街の方々と対話をしていきます。取材とともに、気になったものをスマホで撮影。



### 「地元学」フィールドワークの結果を、高校生の視点でマップ化、発表、共有。



高校生たちがフィールドワークで地元の方から話を聞き、自分たちが見つけた人、言葉、モノなどマップ化していきます。その後、3班それぞれ完成したマップをもとに発表。高校生たちから出てきた高浜町のイマは「海を楽しめる工夫がたくさん！」「人と自然が共生している場所」「地域の中と外の縁を海がつないでいる」「本音を話せる地域の雰囲気」などの言葉で表現されていきます。互いの発表に意見を交換していくうちにそれぞれの持つ高浜町の現状が見えてくる。

[illegible]

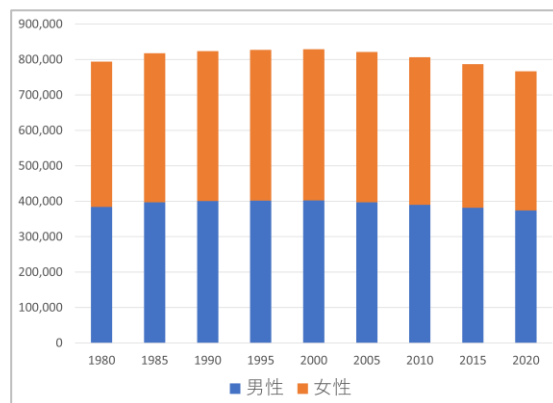
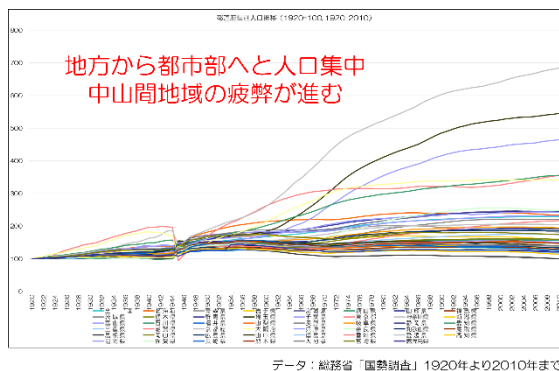
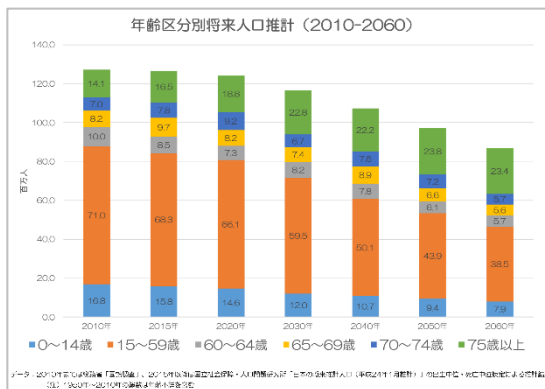
あるもの探し【地元学】で  
高浜の魅力と課題を探ろう

2024年7月28日

- ・【地元学】はなぜ誕生したの？

## 日本が直面している深刻な課題

- ・ 少子高齢化と地域間の人口格差



地方にはこれといった魅力はないの？

## 地元学とは？

- ・地元学とは、自然、歴史、文化、そして生活する人々という地元にある資源に着目し、これらの資源を活用して地域発展を促していく手法
- ・「ないものねだりをやめて、あるものさがしをしよう」という考え方を基盤にしている
- ・また、地元学では、土の人（地元集落で生活する住民）と風の人（集落以外の人）との間で、まち歩きをすることによって、相互の交わりの中で、異なる視座を活かして、地元にある資源とその活用の気づきにつなげていこうとするしくみ
- ・地元学は、地域コミュニティの生活様式に自信を持ち、地域発展のデザインと実施を地域住民の自治によって進めていくことを目的としている



## 「あるもの探し」とは？

【地元学考案者の吉本哲郎氏】

「ないものねだり」から「あるもの探し」へ

“ないもの”ねだり（＝愚痴）をやめて“あるもの”を探し（＝自治）、地域の持っている力・人の持っている力を引き出し、「あるもの」と「あるもの」の新しい組み合わせをしていく

## 地元学でいう「あるもの」とは？

「あるもの」には二つの種類がある

●プラスのあるもの  
「よそにないもの」と「どこにでもあるもの」

●マイナスのあるもの  
「困っているもの」と「余っているもの」と「捨てているもの」

\*両方に目をむけていくことが大事

## 「あるもの探し」の三つのポイント

### 1. 自分たちで地元について調べる

地元に住む人たちが自分の地元にあるものを調べていくことで新しい気づきにつながる

### 2. “風の人”と“土の人”と一緒に調べる

地域の外からやってくる“風の人”たちと地元に住む“土の人”たちが一緒に調べることで、土の人だけではわからなかった地域の持つ力・人の持つ力を引き出す

### 3. 調べたことをまちの未来づくりに活かす

物知りになって終わりではなく、地域のもづくり、暮らしづくり、地域づくり、そして人づくりに役立てる

## あるもの探しのプロセス

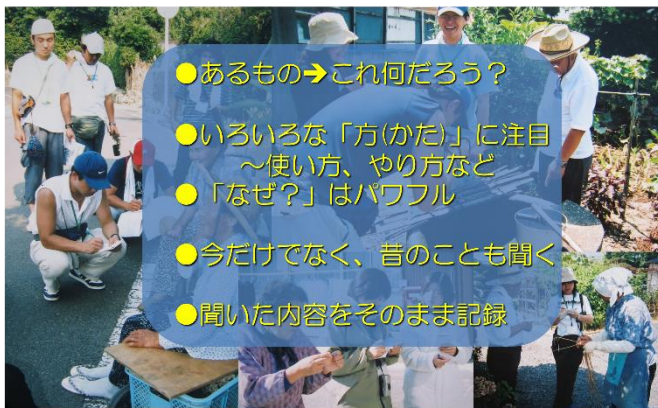


③地域資源カードやインタビューシートをつくり、グループで絵地図をまとめる



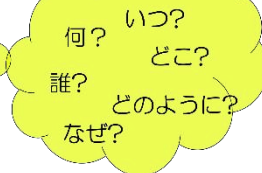
④まとめたものをプレゼンして地域の方に贈呈する

## ①まち歩きをしながら「これは何ですか？」



## 「なぜ？」を問いかけてよう

一つの興味・関心のあるものに対して「なぜ？」を問いかけていくと「あるもの」の中身が見えてくる



1.「これは何ですか？」 2.「どのように使うのですか？」 3.「どうやって食べるのですか？」



## 整理、分析、まとめ



## 発表して、意見交流する



## 第3回 ざわザワ高校

- 日程：2024年9月15日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 若狭高浜漁業協同組合ほか
- 参加：福井県内高校生 男女9名  
堀潤(ジャーナリスト)  
岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
高浜町の皆様(高浜町産業振興課 / 若狭高浜漁業協同組合 ほか)

### 海と歩む街のイマの本当の姿に迫ったこれまで。いよいよ、哲学パートへ。

哲学講師の岩内章太郎先生を迎え、これまで知った「海とともに歩む街」のイマの現場で高校生たちが感じてきたことを言葉にかえていき、アウトプットに向かう「問い立て」をしていく。

### 体験を自分の等身大の言葉で意見交換していく「哲学対話」そして「問い立て」



これまでの意見を等身大の高校生たちの意見を出しあう「哲学対話」(PforC)を行いました。

#### 「哲学対話」の考え方

- ① 答えを急がない
- ② わからなくてもいい
- ③ 黙っててもいい

高校生たちは高浜のこと、海のこと、それに派生した自分の考えていることなどを自分の言葉で意見を出していきました。

ここから、さらに、高校生たちのリアリティから自分たちが共感できる問いを探していきました。「人はなぜ海を守ろうとするのか？高浜の良さは、どう海につながるのか？」「古いものを捨てて新しいものにいく本質は？」「住みたい街と観光したい街の違い？」など。



特に「人はなぜ海を守ろうとするのか？」では、海のシステムを壊しているのは誰かということが焦点になり、人間が壊しているという意見や、海が自分自身を守るため人間を排除しようとして今いろいろ問題が起きているのでは？などが出ました。

次回以降、立てられた問いの「本質」をさらに深めていく。



## 哲学対話の大きな流れ



## 不思議な空間

「答え」を急がない

分からなくてもいい

黙っていてもいい



### 5つのルール —安全な場をつくるために—

1. ぬいぐるみを持っている人が話す。
2. 次に話したい人は手を挙げて、ぬいぐるみをもらう。
3. 話している間、他の人は話をよく聞く。割り込まないようにする。
4. 無理やり話をさせない。話すことがなければぬいぐるみを他の人に「パス」してもよい。
5. 誰かを馬鹿にしたり、差別したりするようなことは言わない。



## 哲学対話のためのTips

1. 「答え」を急がない。
2. 分からないときには「分からない」と言う。
3. もっと聴いてみたいことがあったら、相手に「質問」をする。
4. 「考え」を変えてもいい。
5. 話を「関連」づける（疑問、補足、反論、話題を変える等）。

- 日程：2024年10月26日(土)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 若狭高浜漁業協同組合ほか
- 参加：福井県内高校生 男女10名  
堀潤(ジャーナリスト)  
岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
高浜町の皆様(高浜町産業振興課 / 若狭高浜漁業協同組合 ほか)

### 海と歩む街のイマの本当の姿に迫り、感じた「問い」を哲学的思考で深めていく。



これまで3回の講義では、「高浜町らしさ」を高浜町や漁師の方に聞いたり、自然・歴史・文化、生活する人々自身という地元の資源を「地元学」の手法で海と共に歩む高浜町のイマに迫りました。「海とともに歩む街」のイマの現場で等身大の高校生たちが感じてきたことを「哲学対話」によって「言葉」や「問い」にしてみました。今回は本格的に哲学的思考で、それらの問いの本質に迫る。

### 高浜町の皆さんへのプレゼンに向けた提言テーマ決定。その本質とは。

これまでの「哲学対話」で高校生たちの関心が高かった中から、高浜町の皆さんに発表する2つの「アクションテーマ」、①「海と暮らし」、②「日本人にとって海とは」が決定。



①「海と暮らし」では、海が私たちの日常生活や地域社会にどのような影響を与えているのか、そしてなぜ海を守る必要があるのか経済的合理的な観点から考えていきます。このテーマを哲学的に考えるため、まず「良い暮らし」とは何かをテーマに本質観取を行いました。高校生からは、「生きる」と「暮らす」の違いは？」「暮らしの範囲って？」「暮らしには色がついている感じがする」「帰ることができる」ところ」などの意見やキーワードが出ました。

②「日本人にとって海とは」では、島国で暮らす私たち日本人にとって、海がどのような文化的、精神的な意味を持つのか考えていきます。

このテーマを哲学的に考えるため、まず「聖なるものとは」の本質観取を行いました。高校生からは「無条件に信頼」「心理的な救い」「人間が侵すことができない(侵したくない)存在」などの意見が出ました。それぞれ高校生たちがたどり着いた本質とは(次ページ)。最終的に「海を活かした地域の活性化策」を高浜町の皆さんにプレゼンするため、次回からこの2つのアクションテーマをさらに深堀していきます。



## ①海と暮らし

■海が私たちの日常生活や地域社会にどのような影響を与えているのか、そしてなぜ海を守る必要があるのか 経済的合理的な観点から考える

■漁業振興や観光誘客、人口減少対策など具体的なアイデアにつなげる

本質観取のテーマ

「良い暮らし」とは

良い暮らしの本質とは…

生きるために必要なものがあることを前提に、そこに帰ることができる  
幸せな情動空間？

プレゼンの方向性について意見交換

・体験(五感)を通して魅力を再認識  
⇒イベントを行い良さを伝える

### ★海のコミュニティ

仕事、誇り、充足度  
・職場交換会 ・LNS(ローカルネットワークサービス=回覧板)の確立

## ②日本人にとっての海とは

■島国で暮らす私たち日本人にとって、海がどのような文化的、精神的な意味を持つのか考える

■海に関連した文化や信仰を観光資源に発展させる。次世代に、海との共生を地域の誇りとして感じてもらう

本質観取のテーマ

「聖なるもの」とは

聖なるものの本質とは…

無条件に信頼し、  
心理的な救いを求めるもの  
人間が侵すことのできない  
存在や空間

プレゼンの方向性について意見交換

### ★海の存在理由

・海を生業にしている人にインタビュー  
・神聖化されている場所にいく ・文献調査  
・海にちなんだ祭(七年祭)・豊漁と海上安全を祈願する雄島参り

プレゼンでの提言を見据え、  
基礎となる「問い」を再考・検証・実地リサーチを継続し、固めていく……

# 第4回 ざわザワ高校（授業資料）



## これまでの授業

第1回 (6/30収録)  
「高浜」を知る①



漁港周辺を街歩き  
・漁師、港町、UMIKARA  
・「高浜らしさ」写真で発表

第2回 (7/28収録)  
「高浜」を知る②



「地元学」であるもの探し  
・ビーチにも足を運ぶ  
・「魅力」をまとめ発表

第3回 (9/15収録)  
「哲学対話」スタート



さまざまなテーマで議論  
・高浜に住みたい？  
・「海を守る」本質とは？

## 「哲学対話」で関心が高かったテーマ

- ①人はなぜ、海を守ろうとするのか
- ②住みたい街と観光したい街の違いとは
- ③古いものを捨て、新しいものを選ぶ理由は
- ④人はなぜ愛するのか



2つの「アクションテーマ」を決定

## ①海と暮らし

・海が私たちの日常生活や地域社会にどのような影響を与えているのか、そしてなぜ海を守る必要があるのか**経済的合理的な観点から考える**

・漁業振興や観光誘客、人口減少対策など具体的なアイデアにつなげる

本質観取のテーマ

「良い暮らし」とは

## ②日本人にとっての海とは

・島国で暮らす私たち日本人にとって、海がどのような**文化的、精神的な意味を持つのか考える**

・海に関連した文化や信仰を観光資源に発展させる。次世代に、海との共生を地域の誇りとして感じてもらう。

本質観取のテーマ

「聖なるもの」とは

## 今後の授業の流れ

最終的な目標

## 高浜町の皆さんにプレゼン

- ・テーマ「海を生かした地域の活性化策」
- ・来年2月上旬 町内のホールで発表会を開催(予定)

第4回授業  
(本日)

本質観取、チーム分け、構想発表

第5回授業  
(11/17)

プレゼン準備開始 ※現場訪問も可能

12月～1月

プレゼン準備完了 ※講師がサポート

発表会  
(2月上旬)

プレゼン本番 ※町長ら来場予定



- 日程：2024年11月17日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 若狭高浜漁業協同組合ほか
- 参加：福井県内高校生 男女8名  
堀潤(ジャーナリスト)  
岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
高浜町の皆様(高浜町産業振興課 / 若狭高浜漁業協同組合 ほか)

## 海とともに歩む街の“イマ”に感じた問いを提言まで昇華させていく。



提言テーマ「海と暮らし」と「日本人にとって海とは」について、本質観取の後、問い(リサーチクエスト)を立てて答えを探す作業。その答えが提言につながっていくために、もう一度、問いをチームごとに話し合っていきます。



## 取材は具体と抽象の繰り返し。

## 問いと実地調査をするたびに少しずつ見えてくるもの。

もう一度、「問い」(リサーチクエスト)を立て直した高校生たち。その問いの答えを探しに班ごとに実地リサーチに行きます。「海と暮らし」チームは、高浜町漁村文化伝承館でお話を聞いたり、偶然出会った中学生3人組にもリサーチクエストを投げかけていきます。「日本人にとって海とは」チームは、漁師兼卸業をされている福井さんに問いを投げかけたり、高浜町の漁師さんが崇拝する塩土恵美須神社へ実際に足を運びました。人を寄せ付けられないような場所にある本殿の姿に高校生たちはそれぞれに感じるものがあったようです。



## 自分たちの考えを人に伝えるために。

## 考えて、話し合っ、そして実地調査は続いていく。

実地調査を踏まえ、プレゼン提言の構成案を話し合っていきます。まとめの後、チームごとに現時点の考えを発表。それぞれのチーム同士から、「抽象的なテーマなのに、考えが具体的になっていて良い。」「具体的なアクションが見えてきていて楽しみ」などの意見交換も行いました。



# 第5回 ざわザワ高校（授業資料）

**第1回（6/30収録）**  
「高浜」を知る①



漁港周辺を街歩き  
・ 漁師、港町、UMIKARA  
・ 「高浜らしさ」写真で発表

**第2回（7/28収録）**  
「高浜」を知る②



「地元学」であるもの探し  
・ ビーチにも足を運ぶ  
・ 「魅力」をまとめ発表

**第3回（9/15収録）**  
「哲学対話」スタート



さまざまなテーマで議論  
・ 高浜に住みたい？  
・ 「海を守る」本質とは？

**第4回（10/26収録）**  
哲学対話「本質観取」



本質を洞察⇒共通理解を言語化  
①「良い暮らし」とは  
②「聖なるもの」とは

**第5回（11/17収録）**  
プレゼン準備



問いの整理＆実地リサーチ  
⇒①海と暮らし  
⇒②日本人にとっての海とは

**第6回（2/2収録）**  
プレゼン本番



高浜町民＆町長にプレゼン  
・ 海を生かした地域の活性化策  
・ 各チーム10～15分で発表


## 第4回授業 ※10/26収録

**「本質観取」とは…**

- ・ 自分たちの経験を通して  
ものごとの**本質を洞察**していく哲学対話  
⇒誰もが納得できる**共通理解を言語化**する

↓

授業では **良い暮らし** **聖なるもの** について  
それぞれ哲学対話に臨み、本質を導き出した



## テーマ①「海と暮らし」


**良い暮らし** の本質とは…

生きるために必要なものがあることを前提に、  
そこに帰ることができる幸せな情動空間？

↓

**プレゼンの方向性** について意見交換

- ・ 体験（五感）を通して魅力を再認識  
⇒イベントを企画して良さを伝える
- ・ 海のコミュニティ、仕事、誇り、充足度
- ・ 職場交換会 ・ LNS（ローカルネットワークサービス=回覧板）の確立



## テーマ②「日本人にとっての海とは」

**聖なるもの** の本質とは…


- ・ 無条件に信頼し、心理的な救いを求めるもの
- ・ 人間が侵すことのできない存在や空間

↓

**プレゼンの方向性** について意見交換

★海が存在理由

- ・ 海を生業にしている人にインタビュー
- ・ 神聖化されている場所にいく ・ 文献調査
- ・ 海にちなんだ祭（七ヶ瀬）・ 豊漁と海上安全を祈願する雄島参り



## 各チームのメンバー



**①海と暮らし**

- ・ カイト
- ・ かぬこん
- ・ こと
- ・ ゆうせい
- ・ りっちゃん

**②日本人にとっての海とは**

- ・ こころ
- ・ すーさん
- ・ タダシ
- ・ タマフネ
- ・ みー

※第4回授業に参加していない皆さんも、どちらのチームで活動するか選んでください

## 第5回授業 ※11/17収録


**①リサーチクエスションの整理** ※チームごと

- ・ 前回授業の意見交換の続き
- ・ プレゼンでの結論を見据え、基礎となる「問い」を固める


**②実地リサーチ** ※チームごと、場所は案です

- ・ 漁師小屋周辺、高浜町郷土資料館
- ・ 貝井善治郎氏（漁師画家）のアトリエ、漁村文化伝承館
- ・ 塩土恵美須神社（海の目の前）、地区に残る鳥居や地蔵
- ・ 佐佐治神社（七ヶ瀬）

**③プレゼンの構成案作成 ⇒ 発表**



※塩土恵美須神社



※貝井氏の作品

## 今後のスケジュール

第5回授業  
(11/17)

12月～1月

発表会  
(2/2)

- ・ リサーチクエスション（問い）の整理
- ・ 実地リサーチ ・ プレゼン構成案作成

**プレゼン準備** ※スライドにまとめる（講師がサポート）

- ・ 「問い」に対する「アンサー」は？
- ・ 具体的なアクションプランは？
- ・ さらなる実地リサーチや試験的なアクション実行も可能

**プレゼン本番** ※町長ら来場

- ・ 発表は各チーム10～15分を想定



- 日程：2025年2月2日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 若狭高浜漁業協同組合ほか
- 参加：福井県内高校生 男女16名  
堀潤(ジャーナリスト) / 岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
中村広花(高浜町産業振興課) / 藤本雅広(リアス・デザインラボ)  
海野光行(日本財団 海洋事業部 常務理事) / 高浜町の皆様

海とともに歩む街の“イマ”に感じた問いと想いを高浜町のみなさんに提言。

## 発表① 「海と暮らし」

高浜町の方々は海が近いからこそ「盲目的」になっていないだろうか。一步身を引き、全体を見ることで本来の良さが見えてくるのでは。という問いから始まった発表。街を巡るうちに、海が近いからこそ高浜町の先進的な取り組みとあふれる海への愛を知ったこと。6次産業化の新しい建物と昔から残る舟屋の中に「良い暮らしとはなんだろう？」という問いにたどり着いたこと。他の地域との比較や、意外な発見などをクイズを交えながらと、高校生たちの工夫と伝えたいという意思を感じる発表になりました。

最後に、海が近いからこそ見えない高浜の良さを伝えるアクションアイデアを8つ発表。ひとつひとつに、実地調査による高浜への愛と哲学要素が溢れていました。



## 高浜町からの講評

(高浜町産業振興課の中村さん)

「近くて盲目的という気付きをもらいました。自分の中でも立ち止まって考えてみたり、一步下がって見てみたり、もう少しまわりの人の思いに目を向けることが私の中でも必要になると感じた。高浜の人の温かさを伝えるためのイベント提言、感謝するとともに、イベントの先にどんな未来を想像しているのか知りたい。実現のために町職員として出来る協力はするので思いを形にしてほしい」。

(漁師の藤本さん)

「高浜が大好きで移住してきたので当たり前に思っていたこと、日常の中の豊かさを言語化してくれた。提案してくれた『命に感謝しようイベント』は、海に対する考え方が多角的で、コアな部分に触れてくれた。ハードル高い気もするが、その方がやってて楽しい。ぜひ一緒にやれたらいい」とそれぞれ講評をいただきました。

## 第6回 ざわザワ高校

- 日程：2025年2月2日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 若狭高浜漁業協同組合ほか
- 参加：福井県内高校生 男女16名  
堀潤(ジャーナリスト) / 岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
中村広花(高浜町産業振興課) / 藤本雅広(リアス・デザインラボ)  
海野光行(日本財団 海洋事業部 常務理事) / 高浜町の皆様

海とともに歩む街の“イマ”に感じた問いと想いを高浜町のみなさんに提言。

### 発表② 「日本人にとって海とは」

「経済的な観点からだけではなく、心理的な観点から海を考えたい」とスタートした高校生たち。海がどのような文化的、精神的な意味を持つのかを徹底的に考えました。海を「神聖な場所」と「生活の場所」に分け、「聖なるものとは」「生活とは」「人間とは」と哲学対話を重ねていきます。フィールド調査では、「海からわしらは恵みを得ていて、わしらも海を守る対等な関係や」という漁師さんの声もあり、人間は自然の一部であり、長く共存していくために適度な距離と節度を持つべきだ、という意見にたどり着きました。

提言では、海と人間は相補的な関係を持っていて、海が自分たちに与える恵みを自分たちも何らかの形で返すべきだとし、海とは生活と神聖さが重なる場所であり、それをつなぐシンボルがご神体。実際に見たご神体の環境は、生活のほうに傾き、ごみが落ちている場所でした。このご神体を聖なるもののシンボルとして刷新し生活と神聖さの両立を図るべき。高浜町の人と一緒にご神体の周りの清掃をする。また、わかりやすくシンボル化するため、観光マップなどに記載し、地域内外の方にも知ってもらう取り組みを提案しました。



### 高浜町からの講評

(高浜町産業振興課の中村さん)

「高浜町の人にとって海は、守られているものでもあって、守っていかなければならないものでもある。ご神体のまわりだけではなく、町中をきれいにできるような取り組みをしていきたい。それによって海もきれいになっていくと改めて考えさせられた」

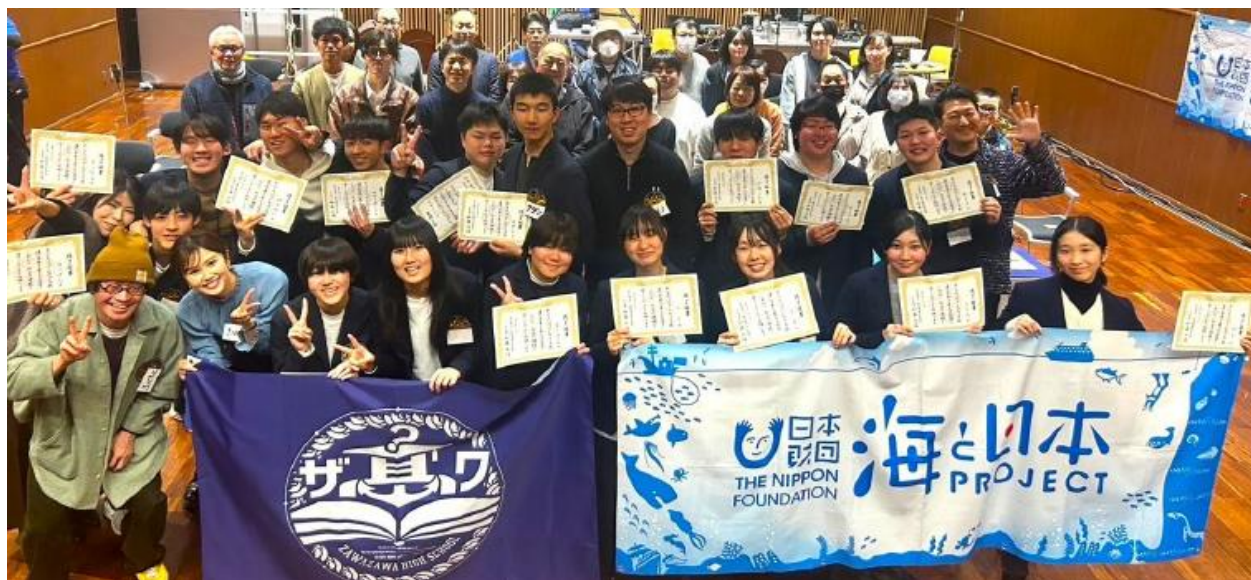
(高浜の民宿「五作荘」今井さん)

「一人の高浜町民として、皆さんがいろいろ考えて提案されたことを大事にして、実現していくことによって、未来が明るくなっていくと思いました。ありがとうございます！」



- 日程：2025年2月2日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 高浜町公民館
- 参加：福井県内高校生 男女16名  
堀潤(ジャーナリスト) / 岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
中村広花(高浜町産業振興課) / 藤本雅広(リアス・デザインラボ)  
海野光行(日本財団 海洋事業部 常務理事) / 高浜町の皆様

### 提言発表を終えて



#### (岩内准教授 講評)

発表会を終え、岩内先生からは「哲学は、物事の『そもそも』を問う原理的思考であり、言葉で『知』を生み出す創造的思考でもある。そこで大切なのは、モノの見方や感受性、立場の違いなど、お互いを理解し認め合うこと。そのうえで対話することで物事の本質に近づいていける。もともと哲学は、様々な文化、宗教、言語などが海を介して交わることで誕生した。私たちざわザワ高校は、海を考えることを通して、高校生同士はもちろん、高浜町の方々ともお互いを理解し深い絆を残すことができたのではないだろうか。」というお言葉を頂きました。

#### (堀潤氏 講評)

1年間、生徒たちに伴走いただいた堀さんからは、「僕は普段、世界各地、紛争や貧困など社会課題があるところに訪ねていくが、世界から見たときに高浜がどのような存在であるか。世界に対してどのような存在であるかを考えながら関わってきた。まさに、高浜の皆さんが海に誇りをもって様々なものを継承してくださっていることは、高浜以外の日本それぞれの目線から見ると自慢であり感謝。お互いが感謝しあえ、それぞれの誇りを尊重しあえるような世界になればと思っている。まさにここ高浜から、今日そのメッセージを打ち出せたのではないかと思います。まだまだこれから。誇りの先を何に向けるのか。どのように伝えるのか。ともにまた頑張りたい。」という感想をいただきました。

## 第6回 ざわザワ高校（特別授業）

- 日程：2025年2月2日(日)
- 場所：福井県大飯郡高浜町 高浜町公民館
- 参加：福井県内高校生 男女16名  
堀潤(ジャーナリスト) / 岩内章太郎(豊橋技術科学大学准教授)  
中村広花(高浜町産業振興課) / 藤本雅広(リアス・デザインラボ)  
海野光行(日本財団 海洋事業部 常務理事) / 高浜町の皆様

### ざわザワ高校 特別授業 「海は誰のもの？」

哲学的思考で海の課題解決を目指すざわザワ高校。これまでになかった海へのアプローチにより高浜町でおこった変化、そして高校生の提言が生まれました。最終回では特別授業として、「海と哲学～ざわザワ高校～」を協力してきた日本財団 海野光行常務、ざわザワ高校 学級委員長を務めた堀潤氏、哲学講師の岩内准教授が、参加高校生と一緒に「海は誰のもの？」というテーマで哲学対話を行いました。

例として、海野常務から南鳥島近海で発見された海底鉱物資源・マンガンノジュールの実物を手にした高校生たち。海の資源を採るのか、残すのか、誰が決めるのか、だれが所有すべきなのか、足りない情報はないか等、様々な意見が飛び出します。未来まで持続可能な海のため、今の私たちが出すべき結論とは。議論の後に、国際的な議題でもあることを知った高校生たちの顔には喜びと自信があふれていました。



### 「ざわザワ高校」参加高校生へのメッセージ

日本財団 海野常務からは「海もまだその90%がわかっていない。ざわザワ高校で皆さんがこの一年積み重ねてきた対話を止めずに、この先も“問い”続けてほしい。」という激励のメッセージを頂きました。







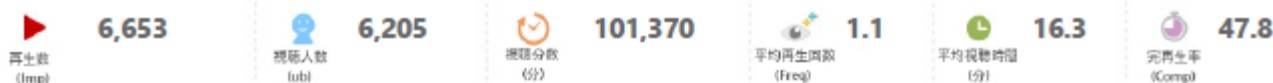
	収録日	福井テレビ 放送日	Tver 配信
#1	6/30(日)	8/10(土) 15:55~16:25	8/10(土)~8/31(土)
#2	7/28(日)	8/31(土) 15:45~16:15	8/31(土)~10/26(土)
#3	9/15(日)	10/26(土) 16:00~16:30	10/26(土)~11/30(土)
#4	10/26(土)	11/30(土) 16:00~16:30	11/30(土)~12/21(土)
#5	11/17(日)	12/21(土) 16:00~16:30	12/21(土)~2/22(土)
#6	2/2(日)	3/8(土) 16:00~16:30	3/8(土)~3/31(月)
特別編 前編	2/2(日)	3/22(土) 15:15~16:00	3/22(土)~3/31(月)
特別編 後編	2/2(日)	3/28(金) 14:35~15:20	3/28(土)~3/31(月)



# Tver 配信レポート（ざわザワ高校#1）

25

## ★ OVER VIEW



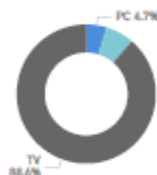
## ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



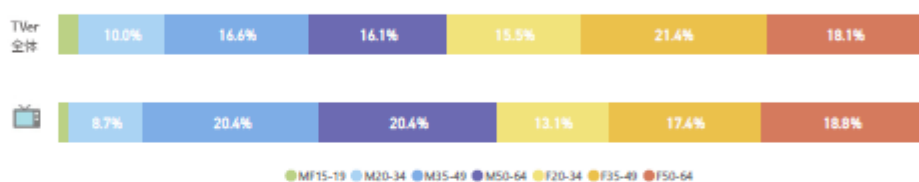
## 👤 日別推移\_視聴人数 (UB)



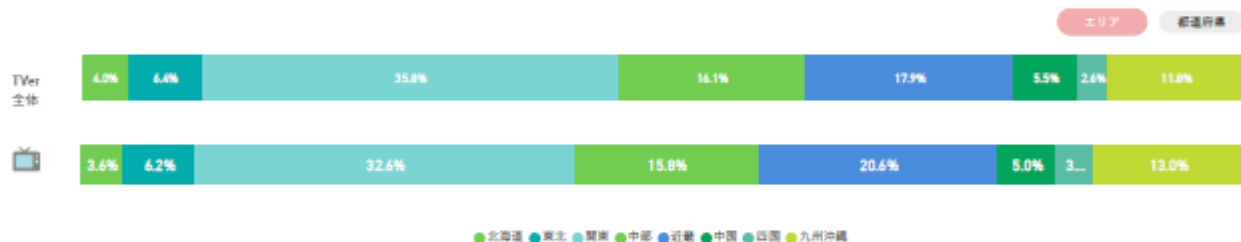
## 💻 デバイス割合\_視聴人数 (UB)



## 👤 視聴者構成割合 (UB)



## 📍 視聴者地域構成割合 (UB)



## 🕒 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

hh24	月	火	水	木	金	土	日
00	12	2	4	5	1	5	707
01	4	2	1	0	1	2	314
02	7		4	1	2	4	128
03	3	1	1	1	2	3	105
04	1	2	0	2	1	4	5
05	3	2	1		1	3	6
06	3	2		3	1	5	12
07	5	2	4	1	2	17	29
08	6	3	3	3	2	19	39
09	6	4	4	1	2	24	35
10	9	2	4	1	3	24	16
11	12	11	4	5	7	24	19
12	6	3	7	5	4	30	25
13	34	10	6	3	6	36	180
14	44	8	11	1	7	28	143
15	30	5	9	8	10	35	141
16	7	10	3	5	10	70	26
17	4	10	6	3	6	28	15
18	7	7	8	6	6	16	12
19	4	3	5	5	6	579	18
20	7	5	6	8	8	569	17
21	5	3	9	3	9	640	13
22	7	1	4	11	7	857	21
23	3	6	3	1	8	957	14

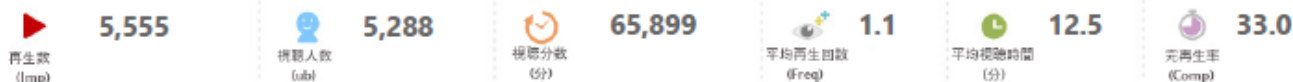
## 📋 番組リスト

番組名	話数	番組詳細	TVerジャンル
FTB ざわザワ高校 海の未来を変える若手	20240810	エピソード1	報道・ドキュ

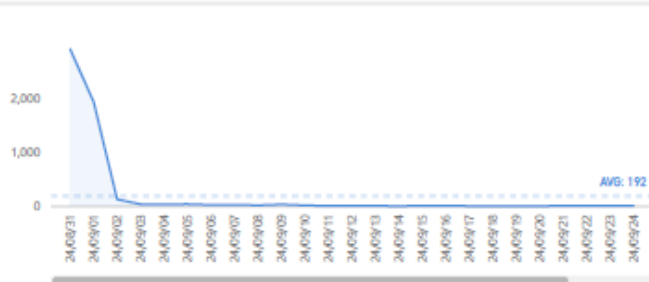


# Tver 配信レポート（ざわザワ高校#2）

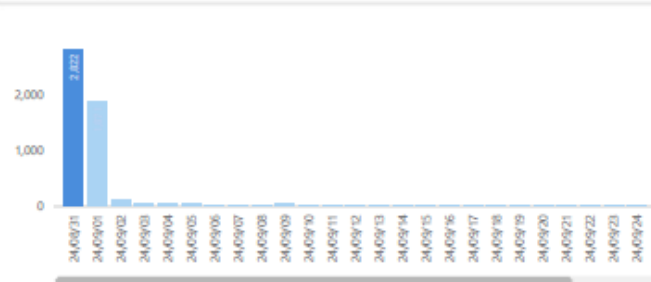
## ★ OVER VIEW



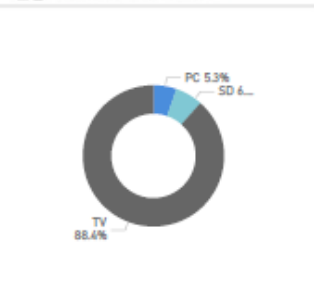
### ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



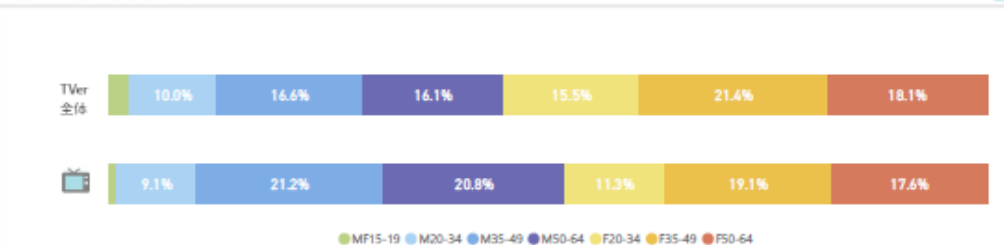
### 日別推移\_視聴人数 (UB)



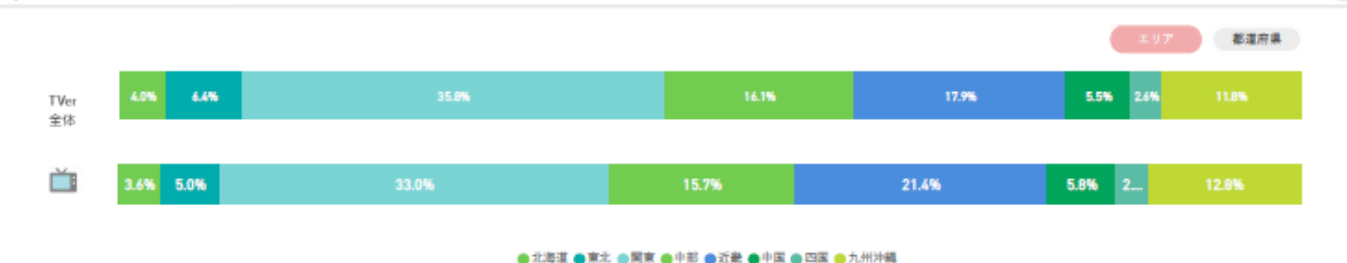
### デバイス割合\_視聴人数 (UB)



### 視聴者構成割合 (UB)



### 視聴者地域構成割合 (UB)



### 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

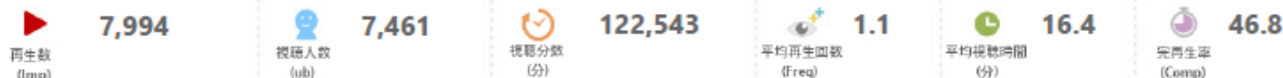
No24	月	火	水	木	金	土	日
00	4	6	2	6	2	1	752
01	4	3	1	2	4	1	118
02	5	3	1	2	4	2	73
03	4		1	2	3	1	59
04	3	0		2	6		8
05	3	2	2	0	5	2	10
06	2	3	4		1	2	8
07	4	2	3	3	7		12
08	2	1	3	1	6	1	14
09	6	1	5	1	6	3	15
10	5	1	4	4	6	1	22
11	10	3	3	2	13	3	19
12	7	3	3	2	9	1	24
13	21	2	2	4	15	1	139
14	23		6	3	28	5	115
15	27	5	4	1	36	1	113
16	1	4		5	52		83
17	5	3	2	7	1	20	95
18	6	8	3	5	8	19	82
19	6	1	5	6	2	261	59
20	9	5	1	10	3	298	70
21	10	7	3	3	3	278	58
22	11	6	5	3	6	1,043	13
23	9	2	5	5	2	1,010	9

### 番組リスト

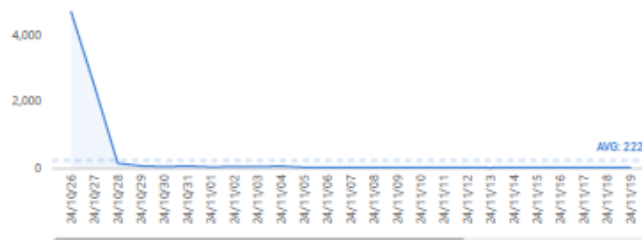
局名	番組名	期数	番組詳細	TVerジャンル
FTB	ざわザワ高校	海の未来を変える哲学	20240831 エピソード2	報道・ドキュ

# Tver 配信レポート（ざわザワ高校#3）

## ★ OVER VIEW



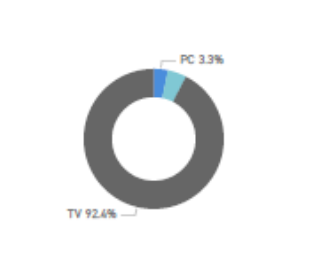
### ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



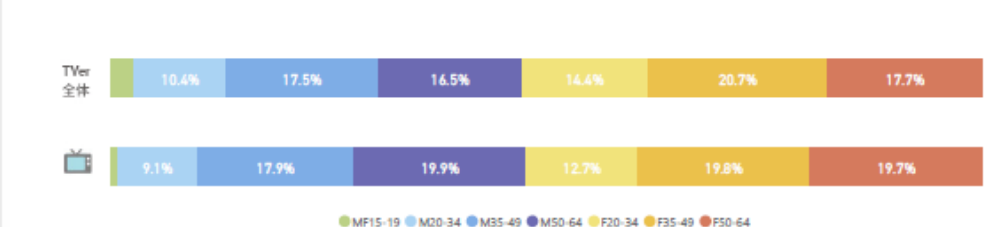
### ▶ 日別推移\_視聴人数 (UB)



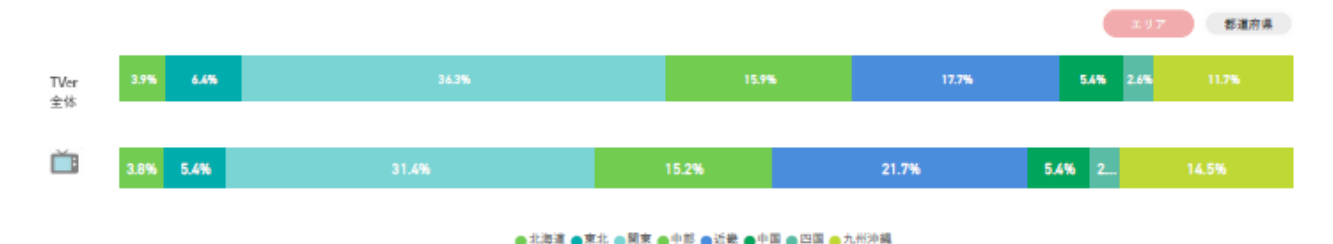
### デバイス割合\_視聴人数 (UB)



### 視聴者構成割合 (UB)



### 視聴者地域構成割合 (UB)



### 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

№24	月	火	水	木	金	土	日
00	79	2	2	2	1	1	868
01	5	2		5	2		459
02	7	4	1	3	0	1	233
03	3	2		2	1	1	160
04	3		1			0	2
05	5	2			3	3	9
06	2	2	1	1	3	1	15
07	4	2	2	0	0	12	30
08	5	4	1	1	2	13	16
09	2	3	1	2	3	16	14
10	3	3	1	3	1	28	25
11	2	2	2	4	0	17	38
12	3	4	0	4	2	17	38
13	7	5	3	2	2	43	76
14	20	9	8	3	5	32	90
15	8	3	2	3	3	47	83
16	6	2	4	7	3	66	19
17	6	5	4	3	2	35	14
18	4	4	2	6	7	11	23
19	3	7	4	6	6		426
20	5	8	8	3	8		815
21	10	6	1	4	3		838
22	3	5	3	3	4		1,366
23	5	4	4	4	7		1,207

### 番組リスト

周名	番組名	話数	番組詳細	TVerジャンル
FTB	ざわザワ高校 海の未来を変える哲学	20241026	エピソード3	報道・ドキュ



# Tver 配信レポート（ざわザワ高校#4）

## ★ OVER VIEW



10,642

再生数  
(Imp)



10,064

視聴人数  
(UB)



115,921

視聴分数  
(分)



1.1

平均再生回数  
(Freq)



11.5

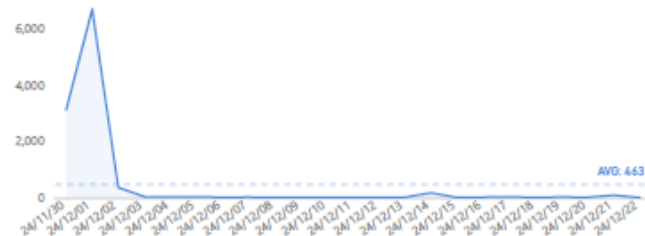
平均視聴時間  
(分)



26.8

完再生率  
(Comp)

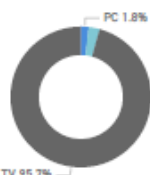
### ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



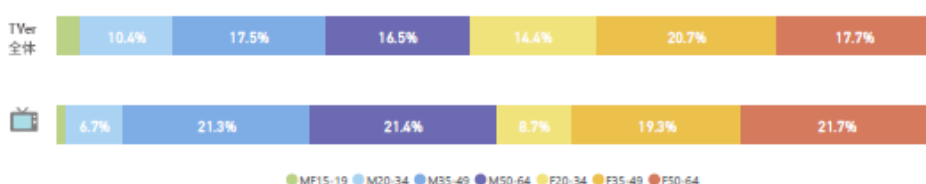
### 日別推移\_視聴人数 (UB)



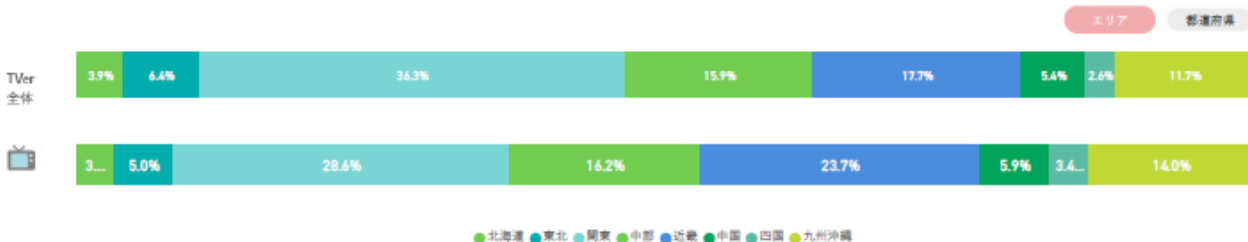
### デバイス割合\_視聴人数 (UB)



### 視聴者構成割合 (UB)



### 視聴者地域構成割合 (UB)



### 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

hh24	月	火	水	木	金	土	日
00	36	3	1	5	0	1	1,103
01	22	2	1	2		1	338
02	9	1	2	3		7	170
03	9		1	1	2	3	124
04	10	2	1			0	48
05	9	0	0	1	1	2	62
06	3	3	3		2	1	117
07	11	2	1			2	162
08	21	1		4		6	385
09	26	6	1		1	6	423
10	26	3	2	1	3	27	372
11	25	2		4	1	18	248
12	22	3	2	2	4	8	282
13	47	4	3	0	1	16	271
14	32	2	3	1	3	17	296
15	31	4	2			20	282
16	5	2	1	1	1	111	342
17	6	4	6	3	2	18	312
18	3	7	1	2	5	13	237
19	6	5	4	1	4	79	266
20	9	4	3	7	5	81	371
21	3	6		4	3	76	332
22	11		4	2	0	1,485	82
23	2		0	4	3	1,377	61

### 番組リスト

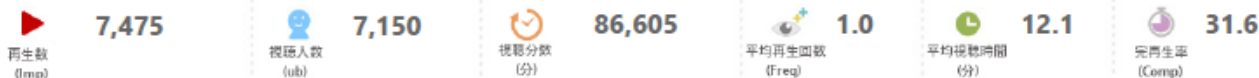
局名	番組名	話数	番組詳細	TVerジャンル
FTB	ざわザワ高校 海の未来を変える哲学	20241130	エピソード4	報道・ドキュ

# Tver 配信レポート（ざわザワ高校#5）

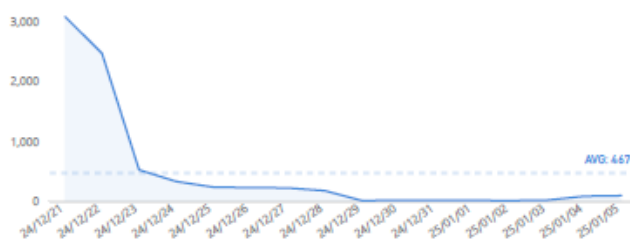
29

2024/9/23-1/5

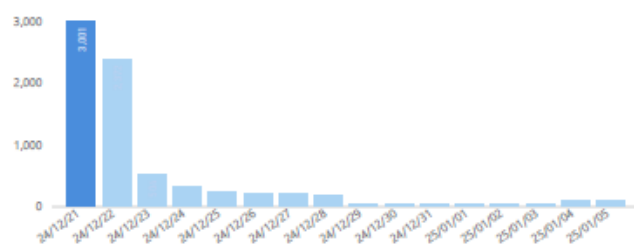
## ★ OVER VIEW



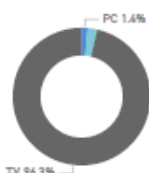
### ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



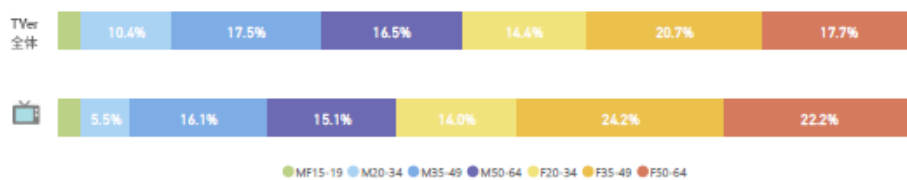
### 👤 日別推移\_視聴人数 (UB)



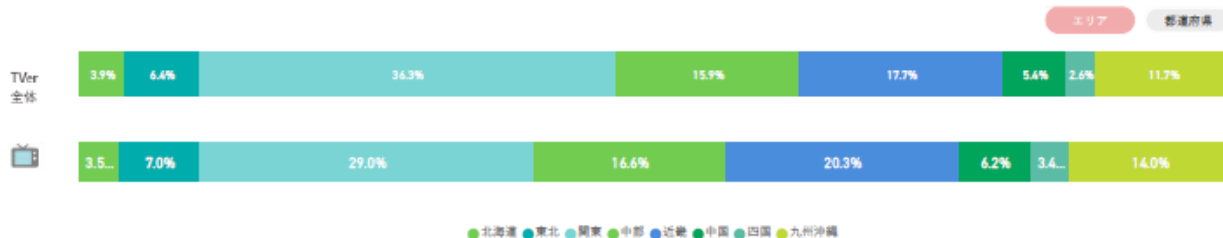
### 💻 デバイス割合\_視聴人数 (UB)



### 👤 視聴者構成割合 (UB)



### 📍 視聴者地域構成割合 (UB)



### 🕒 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

W24	月	火	水	木	金	土	日
00	29	28	13	10	10	23	388
01	14	18	11	8	8	14	155
02	14	4	4	9	3	11	174
03	7	4	2	2	3	4	125
04	2	3	1	3	0	5	65
05	3	4	3		2	2	64
06	6	6	4	2	2	3	97
07	12	4	4	0	4	6	70
08	10	8	5	3	1	10	123
09	21	16	7	4	6	14	139
10	19	21	10	7	13	10	123
11	28	12	17	10	7	14	136
12	27	16	16	9	7	24	124
13	30	25	20	14	17	27	114
14	26	16	13	11	17	23	77
15	28	11	8	6	9	3	90
16	30	14	15	9	20	6	73
17	23	9	6	16	14	29	71
18	27	23	9	10	7	16	59
19	42	18	10	13	11	492	55
20	37	21	16	20	13	707	61
21	29	22	15	22	17	766	52
22	40	15	14	21	18	648	71
23	26	21	19	20	23	481	59

### 📋 番組リスト

局名	番組名	話数	番組詳細	TVerジャンル
FTB	ざわザワ高校 海の未来を変える哲学	20241221	エピソード5	報道・ドキュ

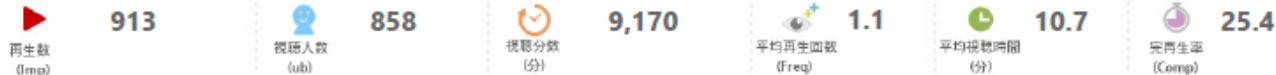


# Tver 配信レポート（ざわザワ高校#5-②）

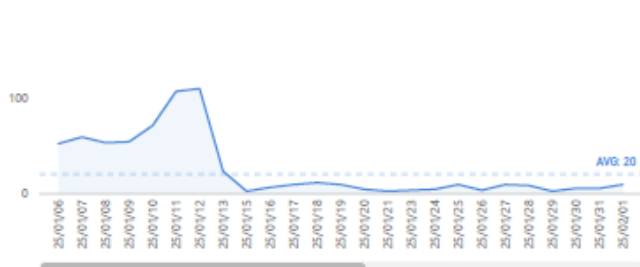
30

2025/1/6-3/23

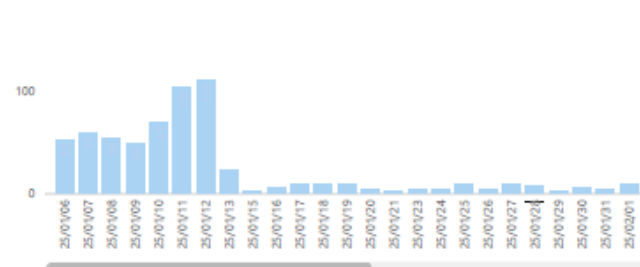
## ★ OVER VIEW



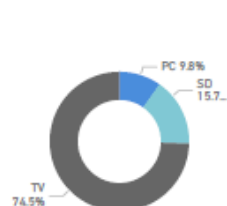
### ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



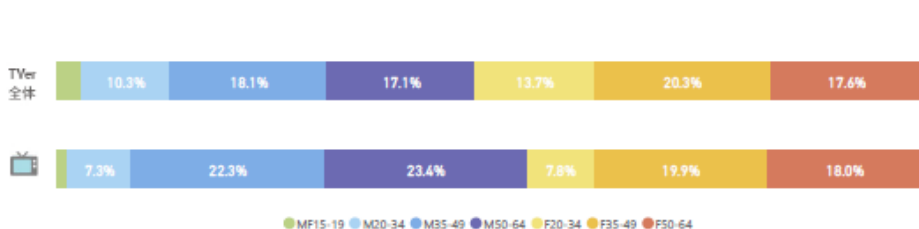
### ▶ 日別推移\_視聴人数 (UB)



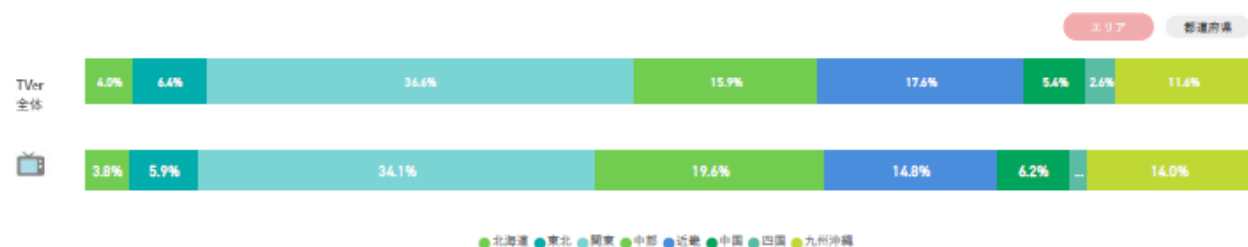
### ▶ デバイス割合\_視聴人数 (UB)



### ▶ 視聴者構成割合 (UB)



### ▶ 視聴者地域構成割合 (UB)



### ▶ 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

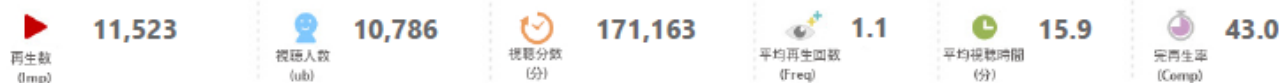
h24	月	火	水	木	金	土	日
00	14	3	5	5	3	10	2
01	5		2	3	0	9	6
02		3	1	3	2	7	3
03	3	2			3	4	4
04	1	2			4	3	0
05		4		4	2	3	2
06	2	3		0		3	1
07	2	1		1		4	3
08	2	3	1	2	1	6	2
09	4	5	3	1	2	7	3
10	4	5	1	1	1	11	6
11	5	4	1	4	4	11	3
12	4	8	2	2	3	11	9
13	7	6	3	2	3	38	6
14	1	0	5	8	4	27	7
15	2	4	4	6	3	18	12
16	3	3	4	4	7	69	12
17	5	3	4	5	9	10	9
18	7	5	3	2	7	9	5
19	5	8	8	2	5	11	11
20	9	9	6	7	12	11	9
21	4	4	5	4	8	15	10
22	3	5	5	9	15	11	7
23	7	2	9	5	11	9	12

### ▶ 番組リスト

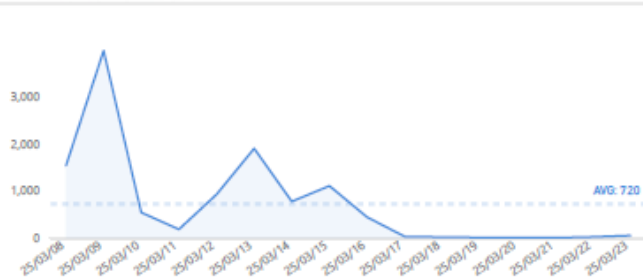
局名	番組名	放送 ▼	番組詳細	TVerジャンル
FTB	ざわザワ高校	海の未来を築く哲学	20241221 エピソード5	報道・ドキュ

# Tver 配信レポート（ざわザワ高校#6）

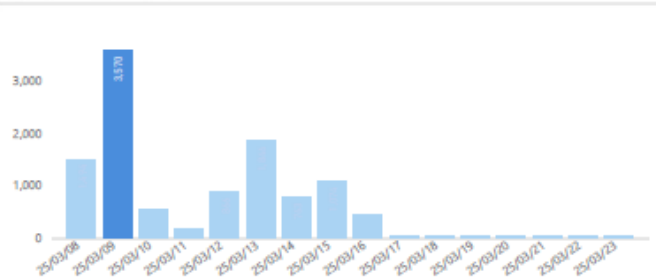
## ★ OVER VIEW



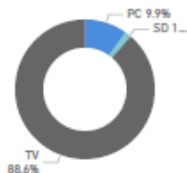
### ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



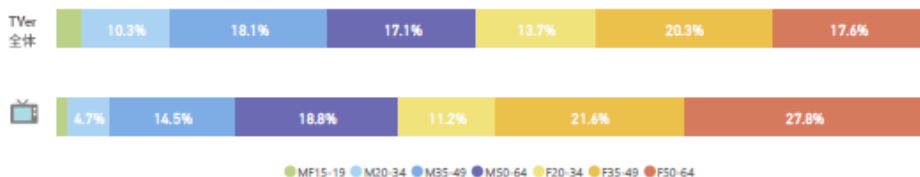
### ▶ 日別推移\_視聴人数 (UB)



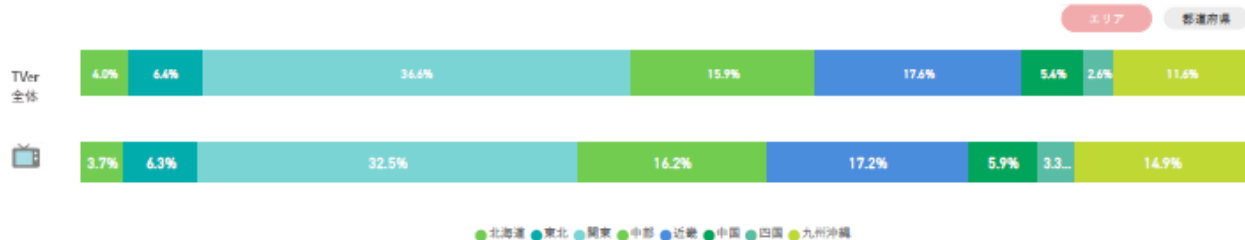
### デバイス割合\_視聴人数 (UB)



### 視聴者構成割合 (UB)



### 視聴者地域構成割合 (UB)



### 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

№24	月	火	水	木	金	土	日
00	5	12	1	210	178	107	722
01	24	5	1	26	150	55	587
02	29	2	2	11	97	39	397
03	34	2	1	7	50	23	272
04	5	5		4	19	13	140
05	4	7	1	4	6	26	138
06	2	2	1	7	4	16	162
07	5	2	2	4	5	21	170
08	4	3	1	3	7	29	263
09	6	4	2	1	0	33	307
10	27	12	2	3	4	39	113
11	38	13	1	4	2	46	95
12	66	16	7	10		45	96
13	84	9	6	155	13	59	303
14	67	7	2	186	11	51	292
15	52	15	3	188	6	62	299
16	25	8	8	20	10	76	35
17	19	13	10	13	10	73	11
18	17	7	9	14	6	47	11
19	4	8	14	137	15	44	8
20	8	12	21	173	6	43	17
21	12	15	32	221	17	72	16
22	16	14	422	268	31	828	12
23	15	5	383	240	129	818	9

### 番組リスト

局名	番組名	放送 ▼	番組詳細	TVerジャンル
----	-----	---------	------	----------

FTB ざわザワ高校 海の未来を変える哲学 20250308 エピソード6 報道・ドキュ

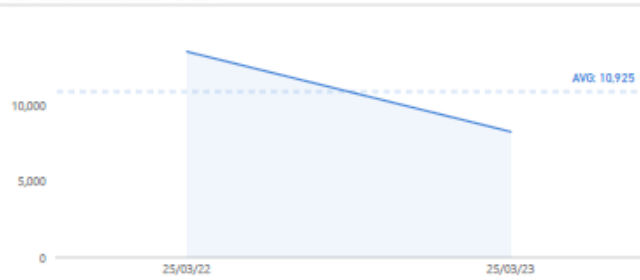


# Tver 配信レポート（ざわザワ高校 特別編）

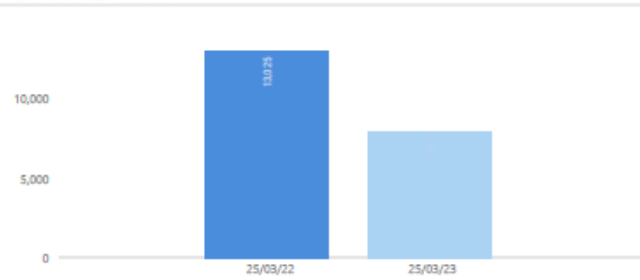
## ★ OVER VIEW



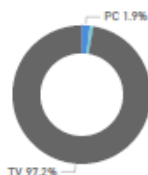
### ▶ 日別推移\_再生数 (Imp)



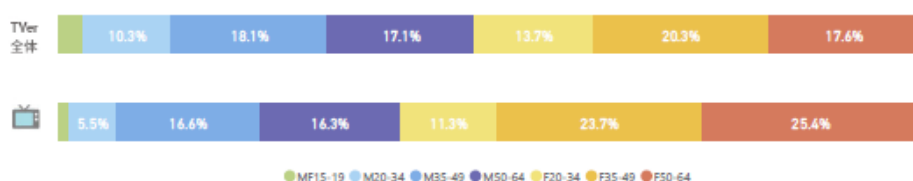
### ▶ 日別推移\_視聴人数 (UB)



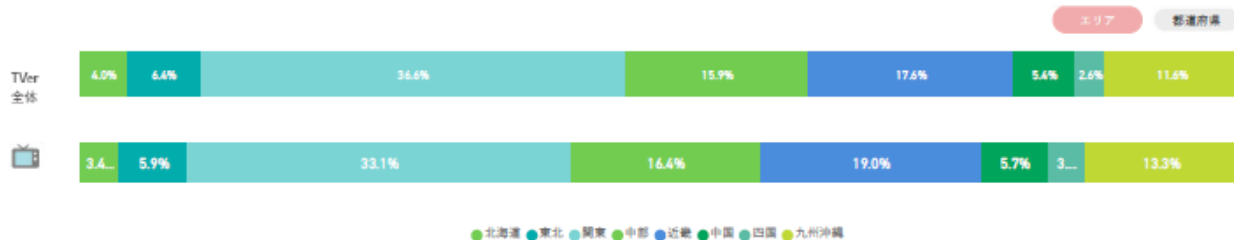
### 📱 デバイス割合\_視聴人数 (UB)



### 👤 視聴者構成割合 (UB)



### 📍 視聴者地域構成割合 (UB)



### 🕒 日時視聴分析\_再生数 (Imp)

時刻	土	日
00		4,720
01		821
02		550
03		448
04		47
05		43
06		44
07		59
08		597
09		428
10		42
11		45
12		41
13		43
14		40
15		57
16		57
17	13	44
18	4	62
19	1	28
20	6	27
21	1	23
22	6,771	13
23	6,767	7

### 📺 番組リスト

局名	番組名	放送日時	番組詳細	TVerジャンル
FTB	ざわザワ高校 海の未来を変える哲学	20250322	特別編 海がつなぐ未来への道へ前...	報道・ドキュ

■YouTube（福井テレビ公式YouTubeチャンネル）



YouTube



□ざわザワ高校 6/30収録 #1

[ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #1](#)

[【ノーカット版①】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #1](#)

[【ノーカット版②】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #1](#)

[【ノーカット版③】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #1](#)

[【ノーカット版④】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #1](#)

[【ノーカット版⑤】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #1](#)

[【ノーカット版⑥】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #1](#)

□ざわザワ高校 7/28収録 #2

[ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #2](#)

[【ノーカット版①】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #2](#)

[【ノーカット版②】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #2](#)

[【ノーカット版③】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #2](#)

[【ノーカット版④】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #2](#)

[【ノーカット版⑤】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #2](#)

[【ノーカット版⑥】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #2](#)



## ■YouTube（福井テレビ公式YouTubeチャンネル）



### □ざわザワ高校 9/15収録 #3

[ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #3](#)

[【ノーカット版①】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #3](#)

[【ノーカット版②】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #3](#)

[【ノーカット版③】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #3](#)

[【ノーカット版④】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #3](#)

### □ざわザワ高校 10/26収録 #4

[ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #4](#)

[【ノーカット版①】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #4](#)

[【ノーカット版②】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #4](#)

[【ノーカット版③】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #4](#)

[【ノーカット版④】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #4](#)

[【ノーカット版⑤】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #4](#)

[【ノーカット版⑥】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #4](#)

### □ざわザワ高校 11/17収録 #5

[ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #5](#)

[【ノーカット版①】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #5](#)

[【ノーカット版②】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #5](#)

[【ノーカット版③】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #5](#)

[【ノーカット版④】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #5](#)

[【ノーカット版⑤】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #5](#)

### □ざわザワ高校 2/2収録 #6

[ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #6](#)

[【ノーカット版①】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #6](#)

[【ノーカット版②】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #6](#)

[【ノーカット版③】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #6](#)

[【ノーカット版④】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #6](#)

[【ノーカット版⑤】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #6](#)

[【ノーカット版⑥】ざわザワ高校～海の未来を変える哲学～ #6](#)

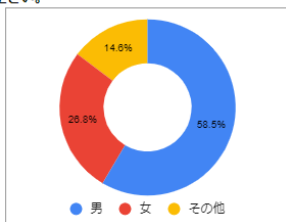
# 参加者アンケート集計

## 中学生

41件

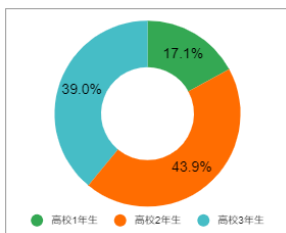
① あなたについて、当てはまるものを選んでください。

男	24
女	11
その他	6



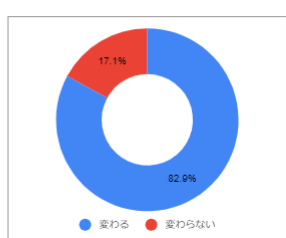
② あなたの学年を教えてください。

中学1年生	0
中学2年生	0
中学3年生	0
高校1年生	7
高校2年生	18
高校3年生	16



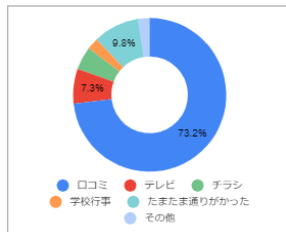
⑧-1 このイベントに参加したことで、今後あなたの海に関する意識や行動は変わると思いますか？

変わる	34
変わらない	7



④ このイベントを何で知りましたか？

口コミ	30
テレビ	3
新聞・雑誌など	0
ウェブサイト	0
X	0
Instagram	0
Facebook	0
TikTok	0
その他SNS	0
チラシ	2
学校行事	1
たまたま通りがかった	4
その他	1



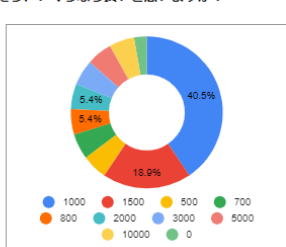
⑩ このイベントにまた参加したいと思いますか？

参加したいと思う	41
参加したいと思わない	0



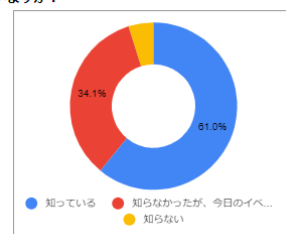
⑨-1 自分がこのイベントに参加費を支払うとしたら、いくらなら良いと思いますか？

上位10件	
1000	15
1500	7
500	2
700	2
800	2
2000	2
3000	2
5000	2
10000	2
0	1



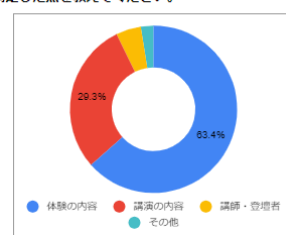
⑤ 日本財団「海と日本プロジェクト」を知っていますか？

知っている	25
知らなかったが、今日のイベントを通して知った	14
知らない	2



⑥-1 このイベントに参加して、一番良かった・満足した点を教えてください。

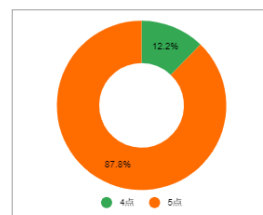
体験の内容	26
講演の内容	12
講師・登壇者	2
飲食	0
特になし	0
その他	1



⑧-1 このイベントに参加したことで、今後あなたの海に関する意識や行動は変わると思いますか？

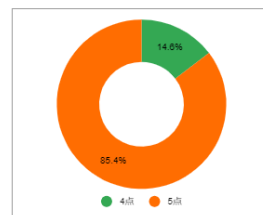
ア) イベントを通じた学び

1点	0
2点	0
3点	0
4点	5
5点	36



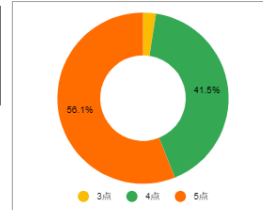
イ) 面白さ/楽しさ

1点	0
2点	0
3点	0
4点	6
5点	35



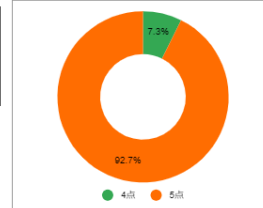
ウ) 時間配分

1点	0
2点	0
3点	1
4点	17
5点	23



エ) スタッフの対応

1点	0
2点	0
3点	0
4点	3
5点	38



オ) 安全管理

1点	0
2点	0
3点	0
4点	5
5点	36

